

「あるじゃ」が農林水産業賞受賞

道の駅「鶴の里あるじゃ」が、地元の農産物の加工・販売を行い地産地消の推進をするとともに、学校給食への食材提供など農業および地域の活性化に貢献していることが認められ、このたび県から「意欲溢れる攻めの農林水産業賞」を受賞しました。

この賞は、攻めの姿勢で新たな試みへ着手したり創意工夫をし、収益性をアップさせている意欲溢れる団体に与えられるもので、今回は道の駅「鶴の里あるじゃ」を含む9団体が受賞しました。

1月17日（木）、ホテル青森で開かれた攻めの農林水産業推進フォーラムの席上で表彰式が行われ、三村申吾知事から各団体へ表彰状が授与されました。



△三村知事から表彰される「あるじゃ」の一戸明彦駅長



あなたの地区の楽しい催しや出来事などを
役場企画課広報国際係までどしどしお知らせ
ください。(☎22-2111 内線264)

夢や目標の実現に向けて

2月7日（木）、鶴田中学校（成田孝行校長）で、2年生156人（男81人、女75人）が、元服に由来した成人の儀式である立志式に臨みました。式辞の中で成田校長は「志を高く、夢に向かってチャレンジする鶴中生として、たくましく成長して欲しい」とエールを贈ると、2学年代表の松山友矩さんは「この立志式を機会に、気持ちをきちんとし、自分の行動に責任を持てるように頑張っていきます」と誓いの言葉を述べました。

この日生徒たちは来賓や保護者に見守られる中、それぞれに志を立て、将来の目標へ向かってがんばることを誓いました。



△決意を胸に凛々しい表情の生徒たち

健診率県NO.1を目指し研修

2月18日（月）、健診率県NO.1推進地区委員会合同研修会が鶴遊館で行われ、行政推進員や保健協力員約180人が参加し、町の健診率向上に向けて学習をしました。

はじめに、健診率上位5地区と上昇率上位5地区の表彰が行われ、その後それぞれの地区委員会からの活動状況や問題点の報告がされ、参加者は今後の取り組みの参考にと真剣に耳を傾けていました。そのほか、鶴亀座（田澤奎子座長）による健康劇や青森県総合健診センター健診医の田鎖良樹氏による、メタボリックシンドローム予防に関する基調講演も行われ、健診の大切さを学びました。



△鶴亀座による津軽弁満載の健康劇に会場は大爆笑！



△大きな声とジェスチャーでオーディションに挑戦する児童たち

胡桃小が英語活動を披露

2月19日（火）、胡桃館小学校で日ごろの英語活動の成果を披露する「English Day」が行われました。はじめに全校児童68人は2人1組になり、劇団や映画のオーディションを受ける設定で英語の寸劇を行い、そこで合格すると契約料としてコインをもらいます。その後、集めたコインを支払って、キャンディー・カフェ・ビンゴコーナーで買い物やゲームを楽しみました。各コーナーには外国語指導助手と国際交流員が配置され、児童たちはすべて英語で会話をしなければならない環境でしたが、みんなとても楽しみながら、日ごろの学習の成果を発揮していました。

町体育協会50周年を祝う

2月23日（土）、鶴田町体育協会が、創立50周年記念式典・祝賀会を国際交流会館で開催しました。この日は約400人の関係者が参加し、これまでの体協の活動と輝かしい足跡を讃え合いました。

式典の前には豊明館で、ロサンゼルスオリンピック体操金メダリストの森末慎二さんの講演会も行われ、オリンピックでの緊張やプレッシャーについて、裏話を交えながら楽しい講演をしてくださいました。

式典では、体協の活動に貢献された個人・団体に表彰状や感謝状が贈られ、今後も体育振興の発展に努めることを誓いました。



△式典で式辞を述べる藤田努鶴田町体育協会会長